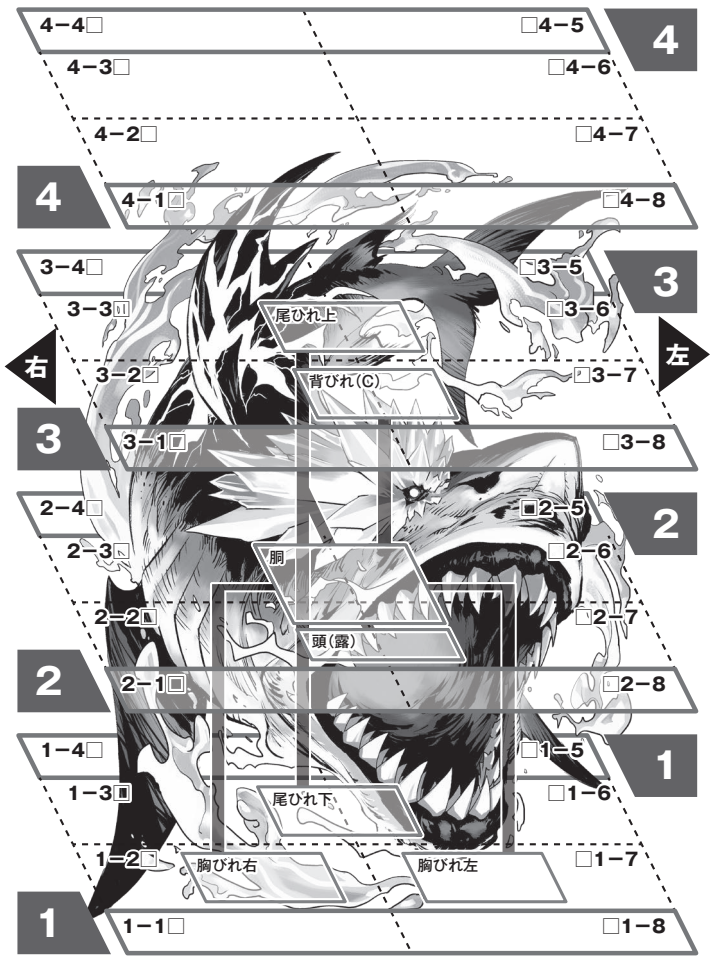

メガロシャーク

　その巨体に、海と見紛うような激流をまとってシャーク型は現れる。鮫に似た姿を持ちながら空を飛翔するシャーク型は、遊撃を得意とするコロッサルだ。基本的には自らの「縄張り」を守護するように回遊し、迷い込んだ人間を襲撃する。

　警戒すべきはその好戦的な性質だ。ひとたび人類の生息圏を見つければ、彼らはその進路を変え、人類への「襲撃」を開始するだろう。頭部を覆うように結晶化したマテリアルによる衝角攻撃、そして身にまとった激流は、多くの人々を葬ってきた。対峙するハンターは、鮫の凶悪な本性を痛感することになる。